

366日 天気のはなし

1日1ページで読む空と天気の不思議

著：菊池 真以

気象予報士で空のフォトグラファー菊池真以が エッセイ&写真で綴った「空と天気の写真エッセイ」

1月1日から12月31日まで、366本のエッセイと366枚の写真で綴った「空と天気の写真エッセイ」。空を彩る様々な雲の話や、四季折々の気象現象のメカニズム、季節感豊かな滋味深い言葉の数々まで、読めば思わず空を眺めるのが楽しくなる！



発売：2024年6月19日頃
四六判／384頁
本体価：2,200円＋税



夕立は長くても1時間くらい！
夏の午後は、突然の雨に見舞われることが珍しくありません。「夕立」は夏の季節にもなっていて、この時期、1年の中でもわか雨の多い季節であることがわかります。
ところで、夕立の可能性あるときは、朝から空にサインが出ることがあります。それは、ほこぼことくさんのわた雲(積雲)(P.65)が空に浮かんでいること。朝、これを見つけると、私は天気図を見なくても夕立が心配になります。時間とともに、強い日差しが地面を暖めて上昇気流が強まると、わた雲はどんどん大きくなって、積乱雲になり、夕立をもたらします。
ふつう夕立は長くても1時間程度でおさまりますが、それは一つの積乱雲の寿命がそれくらいだからです。あわてずに、安全な場所で雨宿りをするのがベスト。スマートフォンの「雨雲レーダー」などを活用すると、いつ雨がやむのかも確認できて便利です。



雲は地球をめぐる水の姿の一つ
8月1日は「水の日」です。空にふわりと浮かんでいる雲は水でできていて、その水はもともと地上にあった水です。水は地球を循環しているのです。では、その様子をなぞってみましょう。



太陽の周りに光の円盤「光環」
カラフルな虹と雲が重なって見ると、虹の光が雲の隙間に透り抜けて、虹の光が雲の隙間によって反射して見えます。虹の光が雲の隙間に透り抜けて、虹の光が雲の隙間によって反射して見えます。虹の光が雲の隙間に透り抜けて、虹の光が雲の隙間によって反射して見えます。

北が南か、南し暮しのパロメーター
梅雨の時期、雨が続くと空が曇り空になり、暑さも感じなくなって、涼しい感じがします。梅雨の時期は、湿度が高くなるので、暑さも感じなくなって、涼しい感じがします。梅雨の時期は、湿度が高くなるので、暑さも感じなくなって、涼しい感じがします。



中秋の名月は満月とはちがらない!?
誰もが中秋の名月(中秋の名月)と、8月15日の満月を同じものとして認識している。しかし、厳密に言えば、中秋の名月は満月とはちがらない。中秋の名月は、8月15日の満月を指す。厳密に言えば、中秋の名月は満月とはちがらない。中秋の名月は、8月15日の満月を指す。



月に影を落とす雲
今晩は、空が綺麗で、星が綺麗に見える。空が綺麗で、星が綺麗に見える。空が綺麗で、星が綺麗に見える。空が綺麗で、星が綺麗に見える。空が綺麗で、星が綺麗に見える。

著者◎菊池 真以(キクチ マイ)
気象予報士、防災士、空フォトグラファー。空の楽しさを伝えるために本の執筆や講演活動を精力的に行っている。出演番組に「NHKニュース7」「NHK首都圏ネットワーク」「Yahoo!天気」などがある。著書に『ときめく雲図鑑』(山と溪谷社)、共著書に『雲と天気大事典』(あかね書房)など多数。茨城県龍ケ崎市出身。龍ヶ崎市ふるさと大使。

玄光社 E-mail: sales@genkoshi.co.jp TEL: 03-3263-3515 FAX: 03-3263-3045
書店様番線印 ※追加注文用【返条付き 注文扱い】 書籍扱い ご注文数
366日 天気のはなし
1日1ページで読む空と天気の不思議
ご担当 様 本体価:2,200円+税 ISBN:978-4-7683-1915-4